

名前

鶴亀算 ③

1円玉と5円玉が合計で15枚あります。
合計金額は51円です。
1円玉と5円玉それぞれ何枚ありますか。

まず15枚あるコインをすべて1円だと考えます。

1円玉15枚 15円

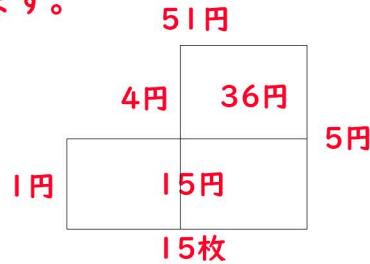
これだと余っている金額は36円

$51 - 15 = 36$ 円

余っている金額を5円玉に変えるので

$36 \div 4 = 9$ 枚

そうすると1円玉6枚、5円玉9枚になる。



答え

1円玉 6枚 5円玉 9枚

1円玉と5円玉が合計で22枚あります。
合計金額は42円です。
1円玉と5円玉それぞれ何枚ありますか。

まず22枚あるコインをすべて1円だと考えます。

1円玉22枚 22円

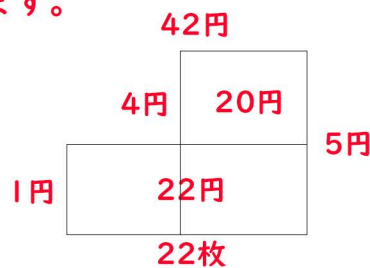
これだと余っている金額は20円

$42 - 22 = 20$ 円

余っている金額を5円玉に変えるので

$20 \div 4 = 5$ 枚

そうすると1円玉17枚、5円玉5枚になる。



答え

1円玉 17枚 5円玉 5枚

60円切手と80円切手が合計で10枚あり、
合計で640円です。
60円切手と80円切手はそれぞれ何枚ありますか。

まず10枚ある切手をすべて60円切手だと考えます。

60円切手10枚 600円

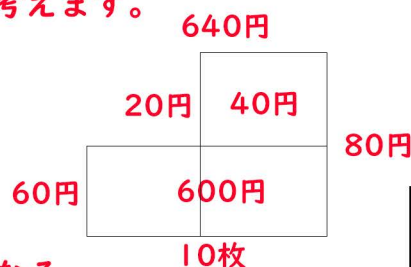
これだと余っている金額は40円

$640 - 600 = 40$ 円

余っている金額を80円切手に変えるので

$40 \div 20 = 2$ 枚

そうすると60円切手8枚、80円切手2枚になる。



答え

60円切手 8枚
80円切手 2枚